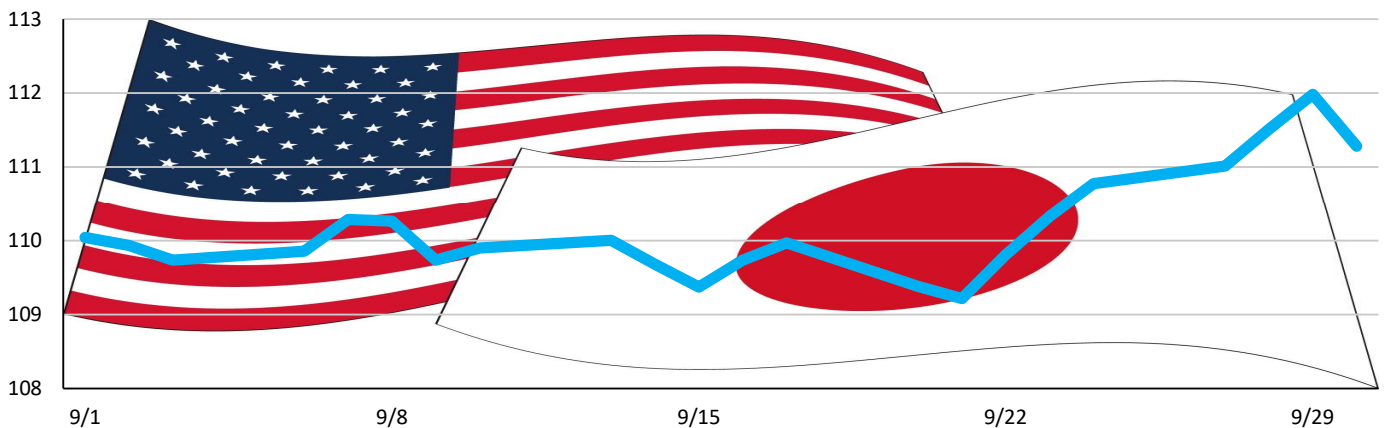


MARKET REVIEW

先月の振り返り：9月のドル円相場は109円前半～112円前半で推移。米国の経済指標が市場予想を上回ったことでドル円は110円台を回復する場面もあったが、デルタ株感染拡大による景気回復鈍化懸念からNYダウの下落が続きドル円は再び109円台に下落するなど110円を中心とした持ち合い相場は継続。月中に中国恒大集団の債務不履行懸念が台頭したことでリスク回避の円高がさらに進み109円前半となったが、中国恒大集団が利払いを表明したことで一先ず問題は先送りされたことやFOMCにおいて利上げ時期の前倒しと利上げ幅拡大が示されたことで流れが一転。月末にかけてドル買いが加速しドル円は112円台に突入したが、利食い売りなどに押され111円台前半で9月を終えた。

(円)

米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：次回のFOMCにおいて利上げ実施の可能性が高まったとマーケットが判断している事で、今しばらくはドル高の地合いが続いていくとみて良いだろう。基本的には押し目を拾っていくスタンスで見たいが、リスク要因も頭に入れておきたい。パウエルFRB議長やブレイナードFRB理事から利上げの条件となる経済指標発表を注視したいと早期利上げ論を牽制する発言がでている。また今のところ沈静化しているとはいえ、中国恒大集団の問題は根本的に解決しておらず再燃の可能性もあるため、突発的な動きに対処できるようにしておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
10 / 26 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
10 / 28 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
10 / 28 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
10 / 28 (木)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
11 / 4 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
11 / 5 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
11 / 10 (水)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。